

クリティーだより



令和4年1月7日
栗生小学校
学校運営協議会

あけましておめでとうございます！

令和4年が始まりました。令和3年も、コロナとの戦いは続き、緊急事態宣言解除後から、延期になっていた行事を順調に行い、怒涛の2学期を終えることができました。

学校行事も地域行事もコミュニティ・スクールの活動も、すべてが予定通りには進まず、大きな「困難」の中にいます。そんな中でも、たくさんの方に支えられ、お力を借りながら、子どもたちのためにできることを少しずつ工夫しながら行うことができたことを本当にうれしく思います。

こんな時こそ、栗生小学校コミュニティ・スクールのコンセプト「自ら開こう！未来の扉」のように、学校・保護者・地域が新しい未来に向かって、挑戦していきたいですね。本年も、よろしくお祈りします。

クリティ・スクールは7年目を終えます。

栗生小学校がコミュニティ・スクールに指定されてから、7年が過ぎようとしています。年の初めに、改めて“コミュニティ・スクール（CS）”とはどのようなものか、初心に立ち返ってみたいと思います。

CSの取り組みは、単に子どもと地域の方々が関わることではなく、地域・保護者・学校が協働して子どもを育てる、「共育」の創造です。学校・家庭・地域を学びの場として、積極的に地域と関わり、学校教育目標「困難に立ち向かい、前向きに生き抜く子どもの育成」を目指して家庭も地域も取り組んでいます。

三者ができることをそれぞれの立場で、または協働で取り組むことで、子ども達一人一人が輝き、関わる大人や地域が元気になる。「子どもも大人も輝く」それがクリティ・スクールなのです。子どもが成長する中で、一番小さな「社会」は家庭です。家庭での安心を得た子どもが、学校、地域へと「社会」を広げていきます。



子ども達が安心して未来の扉を開き、世界に羽ばたくために、基盤となる地域のことを知り、誇りや充足感を持たせることが大切です。学校・家庭・地域が力を合わせて、コミュニティ・スクールを充実させていきましょう。

子ども達が大好きな「クリティ・スクールのうた（クリティ・ソング）」歌詞の中に、大切にしたいことが凝縮されています。



一

未来のとびらを開く鍵をさがす旅なのさ
みんなの力をあわせて大きく踏み出そう
時に道にまよいくじけても
勇気と希望をあたえてくれるよ
それがほぐらの栗ティ・スクール

二

さわやかな風吹いたら
あっちもこっちも行ってみようよ
すれちがう笑顔みんなの
色とりどり花びら大事な道しるべ
あじさいの花が咲きみだれる町
みんな集まれ栗ティ・スクール

三

キラキラ輝くみんなの
世界に羽ばたくみんなのさ
聞こえてくる鐘の音虫送り
みんなの光をそそぎ秋の实りにつながるよ
栗生の誇り栗ティ・スクール